

氏名	清 藤 敬
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 199 号
学位授与の日付	昭和41年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系外科学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学位論文題目	人の腸管の水解および脱水素酸素の組織化学的研究 第 1 編 正常腸管について 第 2 編 腸管腫瘍について
論文審査委員	教授 田中早苗 教授 妹尾左知丸 教授 山本道夫

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

正常腸管および腸管腫瘍，特に癌について alkaline phosphatase, acid phosphatase,  $\beta$ -esterase, aminopeptidase,  $\beta$ -glucuronidase の 5 種の水解酵素および succinic dehydrogenase, lactic dehydrogenase, malic dehydrogenase,  $\alpha$ -glycerophosphatedehydrogenase, glutamic dehydrogenase,  $\beta$ -hydroxybutyric dehydrogenase, glucose-6-phosphate dehydrogenase, isocitric dehydrogenase の 8 種の脱水素酵素活性を組織化学的に検索した。正常小腸絨毛表層は酵素活性が強く，陰窩底部では脱水素酵素活性が強かった。初期の癌，分化型癌の先進部はこれに類似した脱水素酵素活性を示した。他の癌でも浸潤先端部では好氣的，嫌氣的解糖系の酵素活性が共に強いことが多く，癌中心部では好氣的解糖系酵素の活性低下が見られた。

良性ポリープは増殖部では脱水素酵素活性が増強していた。肉腫では全ての酵素活性が弱く，カルチノイドではNADPを助酵素とする脱水素酵素活性が強かった。

岡山医学会雑誌 77巻5，6合併号昭和40年6月および10，11，12合併号(昭和40年12月)に発表

## 論文審査の結果の要旨

清藤敬提出の論文「人の腸管の水解および脱水素酵素の組織化学的研究」について審査した結果の要旨は、次の通りである。

即ち、論文は2編よりなり、第1編では正常腸管について5種類的水解酵素および8種類の脱水素酵素活性を組織化学的に検索している。その結果を要約すれば、正常小腸絨毛表層では酵素活性が強く、陰窩底部では脱水素酵素活性が強かった。次で第2編では腸管腫瘍について同様の検索をおこなっている。即ち、初期の癌、分化型癌の先進部は正常腸管に類似した脱水素酵素活性を示した。他の癌でも浸潤先端部では好氣的、嫌氣的解糖系の酵素活性がともに強いことが多く、癌中心部では好氣的解糖系酵素の活性低下がみられた。良性ポリープは増殖部で脱水素酵素活性が増強していた。肉腫では全ての酵素活性が弱く、カルチノイドではNADPを助酵素とする脱水素活性が強かった。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有するものと認める。